

北見赤十字病院 皮膚科選択研修プログラム

(1) プログラムの名称

北見赤十字病院皮膚科選択研修プログラム（自由選択）

(2) プログラムの目的と特徴

1) 目的

研修を通じ、プライマリ・ケアに必要な頻度の高い皮膚科疾患を診療するための基本的態度・判断力・技術・知識を習得する。

2) 特徴

- ・すべての皮膚疾患に対しプライマリ・ケア対応できる診療体制を整えていること。
- ・悪性腫瘍、形成外科的疾患以外、主だった皮膚疾患の全ての診療を行っていること。

(3) プログラム責任者

飯沼 晋（皮膚科部長）

(4) 研修目標

1) 行動目標

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの行動目標の達成に努める。
皮膚科の診断学・治療学の基礎を習得する。

2) 経験目標

①経験すべき診察法・検査・手技・治療法

I) 基本的診察法

皮膚科の基本的診察法（病歴聴取、視診、触診とその記載）を習得する。

II) 基本的検査・手技

皮膚科診断学に必要な以下の基本的検査を習得する。

1. 真菌検査
2. パッチテスト
3. 光線過敏性テスト
4. 皮膚生検術
5. 皮膚病理組織診断の基礎

Ⅲ) 治療法

1. 皮膚疾患の治療学の基礎を習得する。
2. 軟膏療法
3. 紫外線療法
4. 冷凍凝固法
5. 皮膚外科手術（皮膚良性腫瘍摘出術、陥入爪手術）

②経験すべき症状・疾患

I) 経験が望まれる症状

1. 紅斑、丘疹、結節、水疱および小水疱、膿疱、膨疹、皮膚潰瘍、搔痒

II) 経験が望まれる疾患

1. 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）
2. 蕁麻疹
3. 紅斑症（多形紅斑、結節性紅斑）
4. 中毒疹・薬疹
5. 炎症性角化症（乾癬、扁平苔癬）
6. 水疱症・膿疱症（天疱瘡、類天疱瘡、掌蹠膿疱症）
7. 膠原病（エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎）
8. 皮膚腫瘍（粉瘤、脂漏性角化症、色素性母斑）
9. 細菌性疾患（せつ、伝染性膿痂疹、丹毒）
10. ウイルス性疾患（尋常性疣贅、帯状疱疹、単純性疱疹）
11. 皮膚真菌症（白癬、カンジダ症）

(5) 研修実施計画

1) 期間

自由選択期間

2) 研修の実施計画

①外来研修

問診を実施し、鑑別診断の能力を養う。

上級医・指導医の指示に従い、外来患者を受け持ち、正確な判断力を身につける。

皮膚外科手術の助手を務める。上級医・指導医の指示により皮膚生検を行う。

②病棟研修

上級医・指導医の指示に従い、病棟患者を受け持ち、基本的な皮膚科診察法、検査法、治療法、患者への対応法を研修する。

③カンファレンス

近着スライド、病理組織標本による症例検討会に参加し、皮膚科臨床診断学・皮膚科病理組織診断学の基本を学ぶ。

3) 研修に関する週間スケジュール

	午前	午後	夕方以降
月	外来研修（病棟研修1時間）	外来研修	総回診
火	外来研修（病棟研修1時間）	手術・生検	カンファレンス
水	外来研修（病棟研修1時間）	外来研修	
木	外来研修（病棟研修1時間）	外来研修	
金	外来研修（病棟研修1時間）	手術・生検	総回診

(6) 指導体制

指導医

飯沼 晋（皮膚科部長）

(7) 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる。